

ワクチン2回接種後も全国民が一丸となって万全の感染対策を!!
 —自分の身は自分で守る、自分の国は自分で守る、地球は全人類で守る—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：ワクチン2回接種がなかなか進みませんね。

A：(1)デルタ型ウイルスの感染スピードが速く、また、ワクチン2回接種がもたついているために、この8月は新規感染者が激増しています。

(2)ただ、ワクチン接種券が、ほとんどの国民に8月下旬から9月初旬に配送され、9月中には第1回目の接種が、10月初旬には第2回目の接種が、希望者には行われると思われま

す。
 (3)もし、衆議院議員の総選挙までにワクチン2回接種が完了しないと、国民の不満が爆発し、自由民主党は下野する可能性が大きいので、政府や自治体も命運を懸けてワクチン2回接種に取り組むと期待します。



Q：ワクチン2回接種は効果があるのですか。

A：(1)東京都の年代別の新規感染者数を見ると、ワクチンを2回接種した年代の新規感染者は、極めて少ないようです。

(2)アメリカの統計では、新規感染者の90%以上はワクチン未接種者だそうです。

(3)ワクチン2回接種は、①感染、②発症、③重症化の3つのポイントで、極めて大きな効果があると言われていています。ただし、接種後半年から1年で効果は徐々に少なくなるので、来春3月ごろから第3回目の接種が必要だそうです。

Q：第3回目の接種までに学習塾でしなければならないことは何ですか。

A：(1)3回接種からは、「職域」でできるよう、今から準備を整えることが第一です。

(2)基礎疾患があると免疫力が低下し、感染や発症、重症化しやすいようです。基礎疾患がある教職員は、この際、徹底治療を行うことです。定期健康診断の100%受診と、要検査などの指導があった場合は決して放置しないしくみをつくることです。

(3)塾内クラスターを発生させないよう、万全の感染対策を怠らないことです。

①マスクの着用、入室時の検温、手洗い、消毒

②教室の換気(ドアは常時開けておく、休み時間以外授業中も何回か窓を開け換気、エアコン・換気扇・扇風機の最大活用)

③机や椅子、ドアノブをはじめとする消毒を怠りなく行う



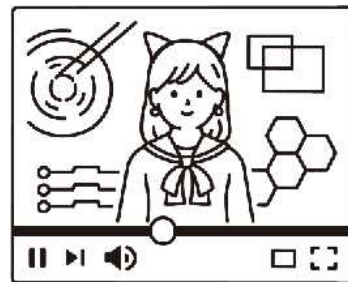
Q：先生やスタッフが感染したら大変ですね。

A：(1)その通りです。日本でも1万人単位で新規感染者が出始めましたので、学習塾でも、あらゆる場合を想定し対策を立てておく必要があります。時間講師の先生をできるだけ多く登録させて頂くこと、時間講師の先生の中で優秀な方には予め「リーダー(サブリーダー)」をお願いし、校長や専任の代行をして頂くしくみを整えることも大切です。

(2)塾生やスタッフから感染者が出た場合には、医師(産業医)や保健所の指導の下に教室・校舎の運営をすることが第一です。

(3)学校が休校になった場合には、昨年のようにズームで授業等をせざるを得ません。しかし、すべての授業や個別面談、打ち合わせなどをズームで行うと、主宰者や参加者の力量により、学習効果に大きなバラツキが出ないとも限りません。先生方のオンライン教育のスキル向上研修をどのように行うかが最大の課題です。

*ズーム以外の方法、例えば25名までの授業に対応できる「モジラ・ハブズ(MOZILLA HUBS)」などの研究も怠らないことが大切です。



Q：学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の先生方にお伝えしたいこと、お考え頂きたいことは何ですか。

A：(1)この新型コロナウイルス禍は、すぐには終息しないことを前提にすべてを考えることです。

(2)この新型コロナウイルス禍の「後世への負(マイナス)の遺産」は、出生者数の大幅減です。

(3)学習塾・予備校・私立学校の新規入学者は、今までの少子化傾向にこのコロナ禍の出生者減がプラスされ、何年か後には大幅減となります。

(4)極端な人手不足時代の到来も明白です。

*どのように対象とする児童・生徒・学生を確保するか、どのようにスタッフを確保するかが、現在の10倍以上の最大の経営課題となります。



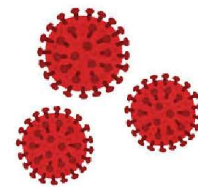
Q：最後に一言どうぞ。

A：僭越ながら先生方がお読みになると有益な本を、今月もご紹介させていただきます。

(1)まずは、コロナ禍の現代社会と将来社会をどう考えるか。1冊目は、日本経済新聞社 政治担当論説委員編「コロナ戦記、政治の中間決算」日本経済新聞出版 2021年4月23日刊です。2020年2月から1年間の状況をしっかり把握、頭の整理をいたしましょう。

(2)2冊目は、2017年6月25日に自らのCNN番組で、世界的感染爆発はアメリカが直面する最大の脅威であると備え遅れに対して警告を発した、ファリード・ザカリア著「パンデミック後の世界 10の教訓」日本経済新聞出版 2021年1月6日刊で、コロナ禍後の世界と行動原則を理解しましょう。

(3)3冊目は、東京大学未来ビジョン研究センター編「未来探究 2050 東大30人の知性が読み解く世界」日本経済新聞出版 2021年3月18日刊は、五神真・東大総長の直轄プログラムの成果物(アウトプット)です。東大は何を目指し、日本や社会に貢献するのかが明確に述べられています。東大進学希望者と東大進学指導者は必読です。福沢諭吉著「文明論之概略」(岩波



文庫)を読んでいるような知的刺激を受けました。

(4)先月、山本芳久著「トマス・アクィナス—理性と神秘」(岩波文庫)岩波書店 2017年12月20日刊と、「世界は善に満ちている、トマス・アクィナス哲学講義」(新潮選書)新潮社 2021年1月27日刊をご紹介します、好評頂きました。今月は、トマス・アクィナスがものごとを考える前提にした、アリストテレス「ニコマコス倫理学(上)(下)」(岩波文庫)岩波書店 1971年11月16日刊を4冊目としてご紹介いたします。古典の中の古典です。余白にメモを取り(マージナリア)、「著者との時空を超えた対話」を是非お楽しみください。

(5)以前、京都大学佐伯啓思著「学問の力」(ちくま文庫)をご紹介します。今月は、コロナ禍の混迷をどう乗り越えるかに役立つ、同著「『保守』のゆくえ」(中公新書ラクレ)中央公論新社 2018年3月10日刊を、5冊目としておすすめいたします。「価値の喪失」の中で「意味ある生とは何か」を「保守」主義の立場から考えます。同著「『脱』戦後のすすめ」(中公新書ラクレ)、同著「現代文明論講義、ニヒリズムをめぐる京大生との対話」(ちくま新書)とともに、是非お読みください。保守の思想とは何かと同時に、京都学派の素晴らしさがよくわかります。

*「保守主義」について東京大学の代表としては、宇野重規著「保守主義とは何か—反フランス革命から現代日本まで」(中公新書)中央公論新社 2016年6月25日刊が素晴らしいの一言です。2冊を読み比べただけでも、京都大学と東京大学の思想の原流がよくわかります。

(6)木原武一著「天才の勉強術」新潮選書 1994年6月15日刊が、今月の6冊目です。モーツァルトから平賀源内まで9人の天才の勉強術です。興味が尽きません。同著「大人のための偉人伝(正・続)」新潮選書も素晴らしい作品です。以上、木原先生の3冊で28名の歴史上の人物の勉強術が学べます。是非、教え子一人一人に紹介してあげてください。同著「あの偉人たちが育てた子供時代の習慣」PHP 2003年5月7日刊は、子育ての「まとめテキスト」と言えます。木原先生の著作集は参考になります。是非お読みください。

(7)大切なのは「読書教育(Education of Reading)」です。これぞという一つのテーマ、分野(ジャンル)、一人の著作者を決めたら、まずは、基本となる一冊を読み込む。思考や語彙が慣れてきたら、関連する作品を少しずつ読み、「本質的理解」を深めることが大切です。ものごとの「本質的理解」については、井筒俊彦著「意識と本質、精神的東洋を求めて」(岩波文庫)と、フィヒテ著「学者の使命・学者の本質」(岩波文庫)が参考になります。



2021年8月11日(水)記

